ST 通信

第 14 号

寒さが少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じられる季節となりました。今年一年で、子どもたちは自分たちのペースで大きく成長してくれたように感じています。来年も、この成長を土台にして、新たな姿を見せてくれることを楽しみにしています。

ことば遊びの時間

ことば遊びの時間では、平仮名を使った遊びを取り入れています。身近なものを表す絵カードを子どもに見てもらい、その言葉をホワイトボードに一文字ずつ並べてもらいます。並べた後、一文字ずつ、子どもたちと一緒に名前を言い、その言葉の文字と音を確認しています。

さわってあてよう！

先日、レクレーション会議で提案した活動の中で、『さわってあてよう！』ゲームを行いました。箱の中に子どもたちが知っているいろいろな形状のもの（硬い、柔らかい、丸い、細いなど）を入れて、手で触ってもらい、何かをあてるゲームです。

このゲームには、以下のような目的があります。

・何が入っているかわからないというドキドキ感を楽しむ。イメージを広げる。
・手先に意識を向ける。感触の過敏を減らす。
・言葉で表現する力をつける。

箱でなくても、布をかけて見えない状態で触ってみてもできますので、家庭でもやってみて下さい。